

無償資金協力に係る事後評価票

(注)本案件は外務省評価案件であり、外務省による一次評価を踏まえ外部有識者による二次評価を実施していますので、評価項目ごとの二次評価結果を追記しています。  
二次評価の概要については、外務省ホームページに掲載されている無償資金協力におけるプロジェクト・レベル事後評価報告書(平成19年度)をご参照下さい。

担当公館名：在ガーナ日本国大使館	
国名：ガーナ共和国	案件名：ガーナ 小中橋梁建設計画
E/N署名日：2001年5月11日	供与限度額：10.01億円
先方実施機関：道路運輸省 地方道路局	完工日：2003年6月17日
他の関連協力：	
1. 案件の目的 (B/D時の目標・想定効果を記載)	<p>①当該支線道路において物的・人的輸送の確保及び促進 橋がない、あるいはあっても雨季には通行できないといった交通上のボトルネックを解消し、交通を確保するとともに、迂回延長を短縮などにより交通コストを低減し、物的・人的輸送の促進を図る。</p> <p>②地域経済の活性化と貧困緩和への貢献 ガーナにおける農業形態は、ほとんどが個人ベースの小規模農家であり、農家は自分で農業生産物を市場まで運び、そこで売ることにより収入を得ている。河川が障害となり市場にアクセスできない、あるいはアクセスできる市場の数が限られているといった状況は、農業生産物を売り、収入を得る機会が少なく、農民の生産意欲を減退させ、農業生産性が低い重大な要因となっている。橋梁建設は、このような状況を解消し、地域経済を活性化するとともに、農民の収入を増加させ、貧困緩和に大きく貢献することになる。</p> <p>③ベーシックヒューマンニーズ (BHN) の充足 ガーナの地方部においては、橋梁の未整備により、病院・学校などへのアクセス性が阻害されており、BHNの充足度は未だに低い状況にある。大きな病院は州都あるいは地方都市にしかない。これらの施設へのアクセスは、橋梁を整備することにより、大きく改善され、BHNの充足度を高めることに大きく貢献する。</p>
2. 案件の内容	<p>①橋梁5橋の建設 (施設建設型)。 各橋梁の橋長：46.94m、52.04m、31.88m、57.04m、35.70m</p> <p>②橋梁13橋の資機材の調達 (資機材調達型)。</p>
3. 案件の妥当性	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A)</p> <p>詳細評価：</p> <p>① 我が国の対ガーナ国別援助計画における重点開発課題である「地方農村部の活性化」の中の戦略目標「農村振興」における「インフラ整備」に位置づけられる。</p> <p>② ガーナでは、中期国家開発計画(1997-2000)の中で支線道路開発計画が定められている。</p> <p>③ 住民は生産物を輸送できないことから、生産意欲が低下し、地域の経済発展にとって大きな障害となっている。</p> <p>以上より、本案件の実施は、地域住民に対する基本的サービスの改善に貢献し、妥当性が高いといえる。</p>

<p>4. 施設／機材の適切性・効率性</p>	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:A -)</p> <p>詳細評価：施設建設型の5橋梁については、適切に建設されている。しかし、資機材調達型橋梁の一部について、ガーナ政府が契約した現地業者の能力不足による業者変更に起因する工事の遅れが認められたことから、現地大使館からもガーナ地方道路局に対して、本計画の効果の発現を確保する観点から、早期完了の申し入れを行い、その結果、2007年7月に予定より遅れて全ての橋梁の建設が完了した。</p> <p>一部橋梁は、雨期になると対象橋梁までの道路が未整備なために、車両通行が困難であるが、乾期では利用頻度が増え、有効に活用されている。</p> <div data-bbox="679 573 1217 967" data-label="Image"> </div> <p>我が国支援により建設された橋梁（イースタン州）</p>
<p>5. 効果の発現状況（有効性）</p>	<p>全般的評価：A (外部有識者による二次評価:B +)</p> <p>詳細評価：橋梁の建設により、これまでは全く橋がなかったために川を徒歩で渡るのみであった場所が、建設後車両通行が可能となり、人・モノの移動が容易になった。</p> <p>また、橋梁が存在しなかったために、場所によって周辺住民は20km以上迂回しなくてはならなかったが、橋梁の建設によって時間的、費用的に大幅に短縮することができるようになった。</p>
<p>6. インパクト（上位目標への影響等）</p>	<p>全般的評価：B (外部有識者による二次評価:B +)</p> <p>詳細評価：対象橋梁の周辺住民は、移動時間の短縮、また市場へのアクセスが容易になったことにより、経済活動の機会が増加した。</p> <p>また、これまでは徒歩・自転車・自動2輪などで川床を移動していたため、安全性に問題があったが、橋梁の建設により、安全に移動することが可能となった。特に、子供は徒歩で学校に通うため、雨期における増水時の危険が回避された。</p>
<p>7. 自立発展性・さらなる改善の余地 (改善の余地がある点については以下に記入)</p>	<p>全般的評価：B (外部有識者による二次評価:B)</p> <p>詳細評価：実施機関である道路運輸省地方道路局(DFR)が、橋梁の維持管理を行っているが、工事を請け負っている現地業者は多くの事業を担当しているため、重機の使用が限られており、計画的な事業の実施が十分になされておらず、改善の余地がある。</p>
<p>(1) 対応方針</p>	<p>住民のニーズ及び改修・建設計画を総合的に判断し、また地元業者の状況を把握した上で、引き続き適切な管理を行うようDFRに対し働きかけを行う。また、必要に応じてDFR職員のキャパシティ開発を行う。</p>

(2)対応方針理由	道路・橋梁の建設及び維持管理については、すべて地元業者への委託事業として実施されており、DFR は適切な改修・建設計画を策定し、橋梁の維持管理を行う必要があるため。
8. 広報効果（ビジビリティー）	<p>全般的評価：B （外部有識者による二次評価：B - ）</p> <p>詳細評価：2004年8月に行われたアシャンテ州の施設建設型橋梁の完成式典には、ガーナ側からアナネ運輸大臣（当時）、州大臣、国会議員等が出席し、我が国支援であることが適切に広報された。</p> <p>対象橋梁には日の丸及び From the People of Japan との表示があり、直接の裨益者には我が国支援で建設されたことが十分に認識されている。しかし、幹線道路から外れたところに位置しているため、一般市民の認知度は低い。</p> <div data-bbox="667 622 1200 1019" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">日の丸及び From the People of Japan の表示</p>
9. 被援助国による評価（外交的効果についても、本欄に記述する）	<p>ガーナにおいては、都市部と地方との地域格差が大きく、地方の農村部における社会サービスへのアクセス向上、地方経済の活性化等は同国における重要課題であり、道路・橋等の基礎インフラ分野の支援に対する我が国への期待は大きく、本案件の外交的効果は高い。アナネ運輸大臣（当時）は、建設中の対象橋梁の一部を我が国大使とともに視察するなど高い関心を有していた。同大臣や国会議員等が出席した完成式典（上述8.参照）において、アナネ大臣は本事業は社会経済的効果に加え、地元コミュニティ間の交流を促進する観点からも意義深いとして我が国への謝意を表した。</p> <p>また、対象橋梁地域の地元住民からも、橋が建設されたことにより、例えばマーケットに行きやすくなり非常に便利になった等のコメントがあり、直接の裨益者からも評価されている。</p>
10. 提言・教訓	<p>対象橋梁までのアクセス道路が未整備である結果、特に雨期になると橋梁までの通行が困難となる箇所があるので、ガーナ政府により同アクセス道路が舗装されれば、本案件の効果がより発現すると考えられる。</p> <p>今後の地方農村部におけるインフラ整備案件においては、直接支援対象となる地域だけではなく、対象地域へのアクセス状況も調査し、周辺地域のインフラ整備を先方政府担当部局が自ら実施しうる状況にあるかどうか、十分協議・確認することが望まれる。</p>
11. その他	